

施設概要

所在地：奈良市般若寺町

敷地面積：10万6,000㎡

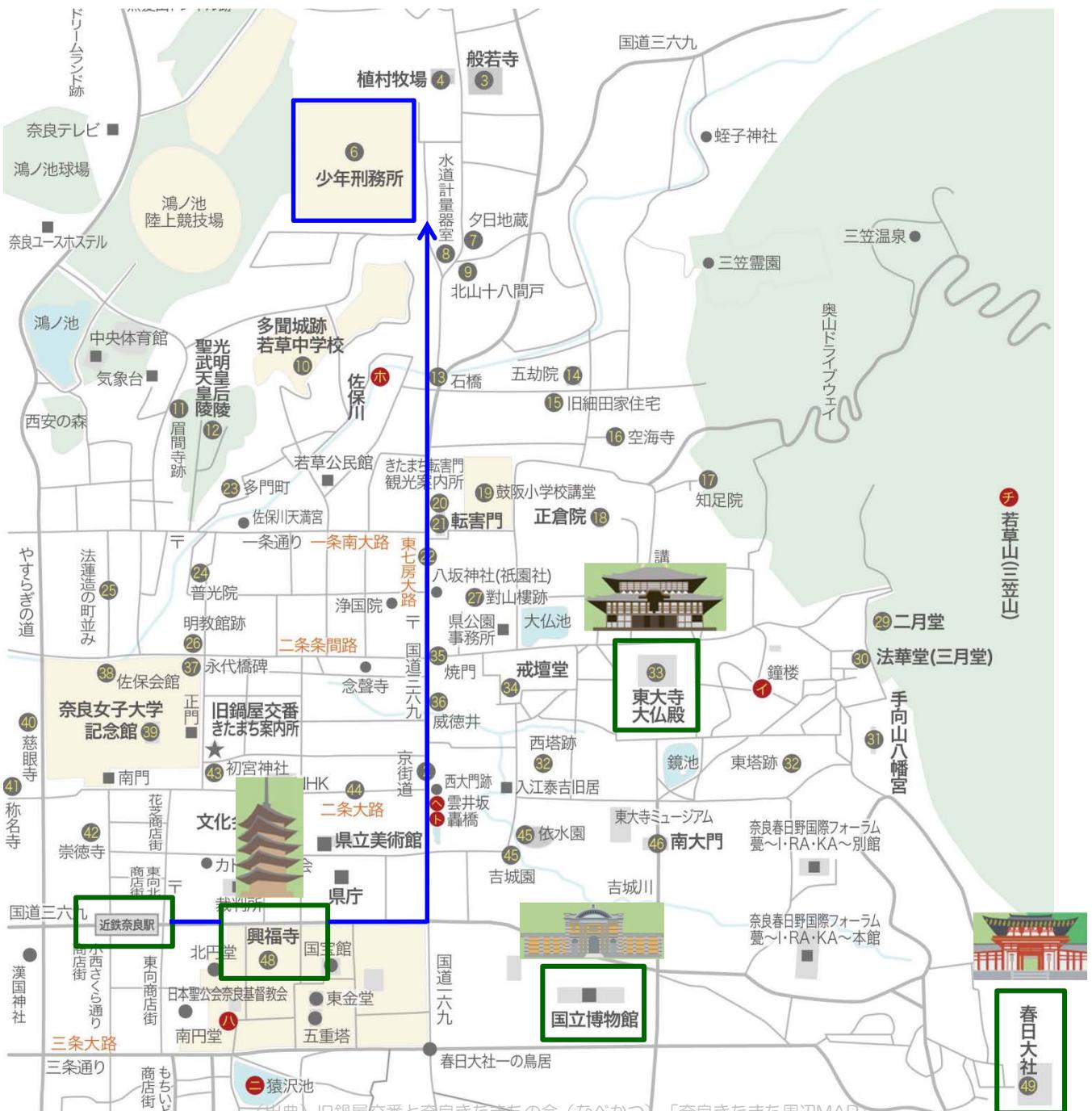
延床面積：(庁舎) 2,800㎡
(収容棟) 1,400㎡×5棟

設計：山下啓次郎(司法省営繕課長)



〈施設全景〉

- 明治政府が監獄の国際標準化を目指して計画した五大監獄(千葉, 長崎, 鹿児島, 金沢, 奈良)の一つ。
- 建物全体の現存は奈良少年刑務所のみ。



(出典) 旧鍋屋交番と奈良きたまちの会(なべかつ)「奈良きたまち周辺MAP」

- 明治政府が監獄の国際標準化を目指して計画したいわゆる五大監獄の一つで、敷地中央に建つ中央看守所及び庁舎を中心として5棟の舎房が扇形に配置されているほか、敷地内には附属工場や拘置監など一連の施設が良好に保存されており、**高い歴史的価値を有している。**
- 建物群は、ロマネスクを基調としたれんが壁の外観で統一され、左右対称の整然とした計画で配置されており、**意匠的にも優れている。**



<表門>



<庁舎>



<中央看守所>



<舎房>



<庁舎廊下>



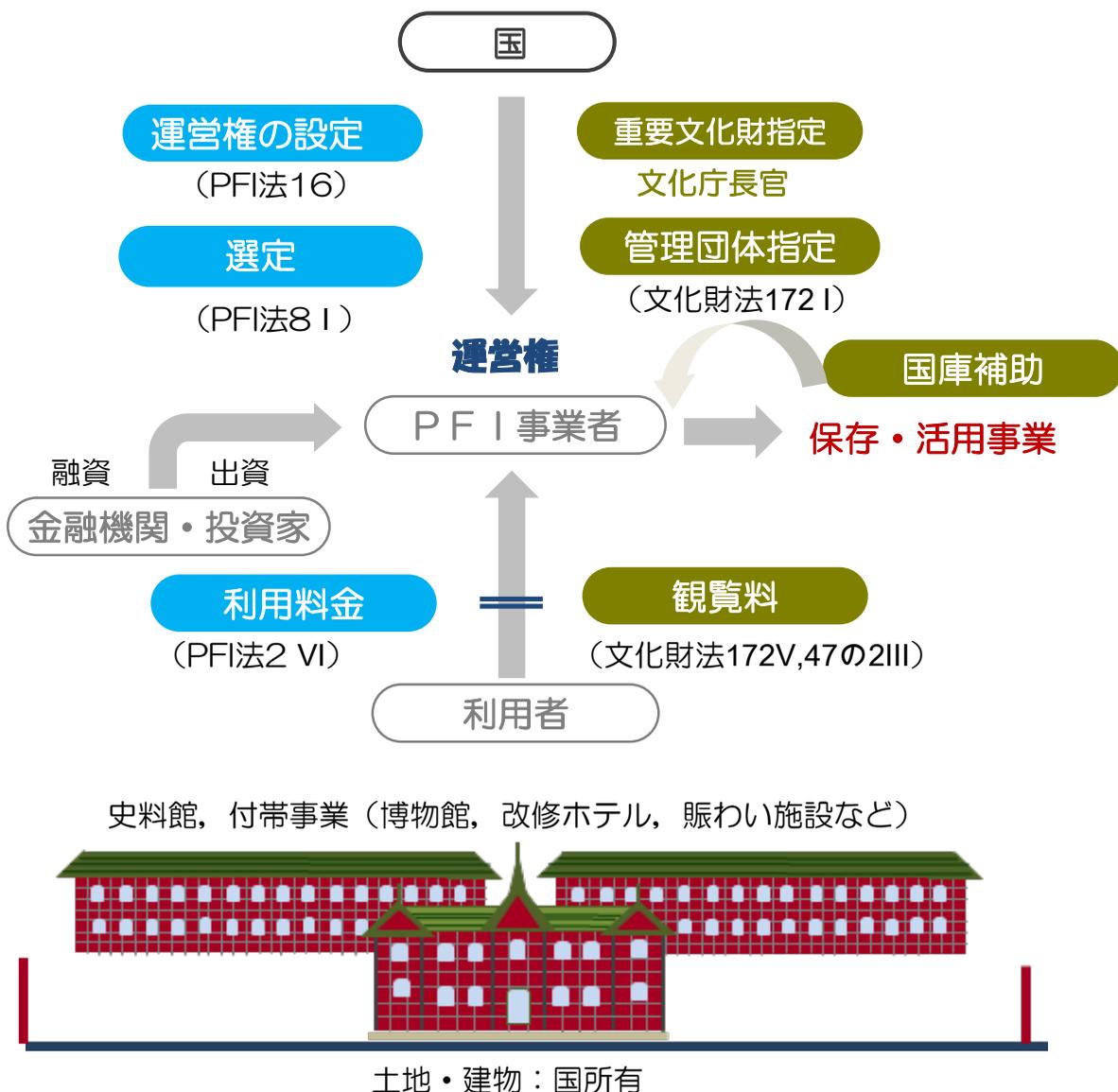
<舎房外観>

1 公共施設の種類

史料館（広報施設）

2 事業内容

- 改修業務：文化財建造物の耐震改修，公開活用に資する設備の整備。
- 運営業務：史料整理，展示，案内など史料館の運営。
- 付帯事業：文化財の保存に支障がない範囲で，史料展示業務として直接利用しない部分（土地を含む。）を活用した付帯事業の提案が可能。



3 スケジュール

平成28年12月	実施方針公表
平成29年5月	事業者選定
8月	事業契約締結
平成31年10月	運営開始

主な課題

1 アクセス路の確保 ～奈良市鴻ノ池運動公園との連携～

- 周辺は住宅地であり、工事車両、観光バス等の進入ができない。
- 施設の駐車場を運動公園の利用に供する代わりに、**運動公園内の園路をアクセス路として利用**できないか、奈良市と協議中。



(出典) 奈良市ホームページ「奈良電力鴻ノ池パーク」



2 文化財の柔軟な現状変更許可

- 史料館の運営のほか、一定の収益性を確保するため改修ホテル等の付帯事業を実施するに当たっては、**壁や床の一部撤去が必要**。
- 文化財の**現状変更には文化庁長官の許可が必要**であるが、柔軟な対応について文化庁と協議中。



<法務省旧本館 法務史料展示室>



<海外でのホテル客室転用例>

(出典) ベストウェスタンプレミア・カタヤノッカ (ヘルシンキ)